

令和 8 年 7 月 28 日
鉄道局都市鉄道政策課

平均混雑率が東京圏・大阪圏で増加、名古屋圏は横ばい

～都市鉄道の混雑率調査結果を公表（令和 7 年度実績）～

国土交通省鉄道局による調査の結果、令和 7（2025）年度における三大都市圏の主要区間の平均混雑率は、東京圏と大阪圏で増加、名古屋圏は横ばいとなりました。

国土交通省鉄道局では、都市部における通勤通学時間帯の鉄道の混雑状況を把握するため、鉄道事業者の協力のもと、毎年度、主要区間の混雑率^{（注）}を調査しています。

令和 7（2025）年度の調査の結果、三大都市圏の主要区間の平均混雑率は、東京圏が 143%（前年度比 4 ポイント増加）、大阪圏が 117%（同 1 ポイント増加）、名古屋圏が 126%（同 増減なし）となりました。

（注）混雑率：最混雑時間帯 1 時間の平均混雑率（主に令和 7 年 10 月～11 月の 1 日、又は複数日の乗車人員データを基に計算したもの）

【三大都市圏の主要区間の平均混雑率（令和 7 年度実績）】 ※括弧内は令和 6 年度実績

東京圏	大阪圏	名古屋圏
143%（139%）	117%（116%）	126%（126%）

〈添付資料〉

- ・資料 1：三大都市圏の主要区間の平均混雑率の推移（2025）
- ・資料 2：三大都市圏の主要区間の混雑率（2025）
- ・資料 3：都市部の路線における最混雑区間の混雑率（2025）

なお、主な鉄道事業者の混雑状況については、各鉄道事業者のウェブサイト等において紹介されています。

連絡先：鉄道局都市鉄道政策課 小俣、五明田
代 表：03-5253-8111（内線：40422、40454）
直 通：03-5253-8535